

国史跡

ほうだむら 這田村法界寺山ノ上付城跡コース

コース 約 1.5km (片道)

1時間10分
(見学時間を除く)

所要時間の目安

起点 法界寺

10分

1 這田村法界寺山ノ上付城跡

10分

2 朝日ヶ丘土塁

15分

3 高木大塚城跡

35分

終点 法界寺



コース紹介

法界寺の背後の山頂に位置する這田村法界寺山ノ上付城跡から、朝日ヶ丘土塁(多重土塁)、高木大塚城跡までを巡るコースです。

■ 這田村法界寺山ノ上付城跡 (平成25年3月国史跡指定)

三木と姫路を結ぶ湯の山街道の南側に建つ法界寺の背後の山上に位置します。北東に三木城跡とその先に羽柴秀吉の本陣平井山ノ上付城跡を見通すことができます。城主は、秀吉の重臣・宮部継潤と伝わっています。

■ 朝日ヶ丘土塁 (平成25年3月国史跡指定)

朝日ヶ丘土塁は、這田村法界寺山ノ上付城跡の南東部に位置します。織田氏によって築かれたもので、三木城南側の付城群を多重の土塁でつないで、南側封鎖線が構築されています。これは商人による物資搬送、近隣諸勢力や毛利氏などから運ばれる兵糧などを止めて「三木の干し殺し」に決定的な役割をはたしたと考えられます。

法界寺



● 起点 法界寺

別所氏の菩提寺で羽柴秀吉の三木城攻めに遭い、敗れて城主別所長治が自刃したときその遺体を埋めたと伝えられる寺。霊廟や別所長治夫妻の霊牌及び画像、木像がある。4月17日には三木合戦記を絵物語にした大幅掛軸を使い絵解きが行われます。

1 (国史跡) 這田村法界寺山ノ上付城跡

這田村法界寺山ノ上付城跡
(国史跡)



2 (国史跡) 朝日ヶ丘土塁



朝日ヶ丘

高木大塚城跡
(国史跡)



大きな古墳を中心に十字形に土塁を構えています。城主は不明です。

3 (国史跡) 高木大塚城跡

凡例
トイレ
駐車場

0 100 200 300 400 500 1000m